



MINI DISCLOSURE 2017.3

ミニディスクロージャー誌  
第**137**期 営業のご報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日



## CONTENTS

ごあいさつ	1
事業の概況	2
業容の推移	3
地域社会への貢献	4
中期経営計画「地域の未来を築く こうぎんの挑戦」	6
地域密着型金融の深化	7
金融再生法開示債権の状況	8
トピックス	9
連結財務諸表	10
財務諸表	12
役員・株式のご案内	14
株式の状況	15
店舗のご案内	16
店舗外現金自動設備のご案内	17

## PROFILE (平成29年3月31日現在)

名称	株式会社 高知銀行 THE BANK OF KOCHI, LTD.
本店所在地	高知市堺町2番24号
創立	昭和5年1月
預金等	9,147億円 (譲渡性預金を含む)
貸出金	6,887億円
資本金	195億44百万円
自己資本比率	9.78% (国内基準)
従業員数	903名
店舗数	72店舗 (インターネット専用支店を含む)
こうぎんグループ	株式会社 高銀ビジネス 高知市本町三丁目3番4号 オーシャンリース 株式会社 高知市知寄町一丁目4番30号 YKSちよりビル3F 株式会社 高知カード 高知市知寄町一丁目4番30号 YKSちよりビル2F

写真：桂浜

<http://www.kochi-bank.co.jp/>  
E-mail: [kouhou@kochi-bank.co.jp](mailto:kouhou@kochi-bank.co.jp)

# ごあいさつ

皆さまには、日頃より高知銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。  
ます。

このたび、当行に対するご理解をより一層深めていただきたく、平成28年度のミニディスクロージャー誌「第137期 営業のご報告」を作成いたしました。当行の現況や活動内容をご理解いただくための参考になれば幸いに存じます。

平成27年4月にスタートさせた、当行の中期経営計画「地域の未来を築く こうぎんの挑戦」は最終年度を迎えております。本計画のなかで、目指す姿として掲げた「ベスト・リージョナル・コラボレーション・バンク」すなわち「地域の発展のために、地域とともに最も汗を流す銀行」の永続的な実現に向けて、基本戦略としております「地域密着型金融の深化」をはじめ、「財務基盤の一層の強化」「経営管理態勢の強化」「人材力の最大発揮」につながる諸施策の着実な実行に、役職員が一丸となって取り組んでおります。

少子高齢化の進展による人口の減少が進むなか、地域経済は様々な課題を抱えており、地域金融機関の経営環境も厳しくなることが予想されておりますが、課題解決に向けた地域との連携による地方創生の取り組みは活発化していることから、当行の役割はこれまで以上に重要になってくるものと考えております。

当行はこれからも、お客さま本位の良質な金融サービスの提供に取り組み、積極的に金融仲介機能を発揮することによって、地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

今後とも変わらぬご愛顧とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成29年6月

取締役頭取

森下勝彦

## 経営理念

**熱意** 高知銀行は、限りない熱意をもって、地域の発展と暮らしの向上に貢献します。

**調和** 高知銀行は、調和のとれた経営をもって、お客さまの信頼に応えます。

**誠実** 高知銀行は、創意と誠実をもって、お客さまに奉仕します。



郷土高知を照らす太陽と、「熱意」の姿勢を赤に  
穏やかにそびえる山々と、「調和」への願いを緑に  
躍る黒潮と、「誠実」の精神を青にたとえて

高知銀行のシンボルマークは「ビビッドK」。  
右上の赤は地域の皆さまを、  
右下の緑は地元企業の皆さまを、  
そして、それぞれのニーズを受け止める  
高知銀行を左の青で表しています。

# 事業の概況～事業の経過および成果等

## ■金融経済環境

平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日）の日本経済は、政府の経済対策や企業収益の改善により、雇用・所得環境は改善が続きました。また、個人消費の一部に弱さがみられ、設備投資は一進一退の動きが続いたものの、公共投資や住宅投資は底堅く推移し、全体としては緩やかな回復基調が続きました。

当行の主要営業基盤である高知県の経済は、雇用・所得環境は底堅く推移したほか、個人消費は一部に弱さが残るものの、公共工事業や住宅設備は高水準で推移しており、全体では緩やかに回復しつつあります。

## ■事業の経過および成果

こうした経済環境下、当行は全役職員が一致協力して地域に密着した営業活動を展開し、業績の向上と経営体質の改善強化に努めてまいりました。

その結果、譲渡性預金を含む預金等残高は期中80億円増加して、期末残高は9,147億円（前期末比0.88%増）となりました。

一方、貸出金は地域中小企業を中心とする事業資金に積極的に取り組みました結果、期中64億円増加して、期末残高は6,887億円（前期末比0.94%増）となりました。

また、有価証券は、期中53億円増加して、期末残高は3,132億円（前期末比1.72%増）となりました。

損益面では、経常利益は前期比4億81百万円減少して28億83百万円（前期比14.31%減）、当期純利益は同8億14百万円減少して21億13百万円（前期比27.82%減）となりました。

## ■当行が対処すべき課題

地域経済は緩やかに持ち直しつつあるものの、中長期的にみれば、人口減少による経済規模の縮小や少子高齢化の進展といった構造的な課題を抱えており、依然として厳しい状況が続くものと想定されます。

こうしたなか、当行は地域金融機関としてお客様の立場に立ち、コンサルティング機能の発揮やソリューションの提供に誠実に取り組み、良質な金融サービスを提供することで、地域経済の活性

化につながる地方創生に貢献してまいりたいと考えております。

地域の発展のために地域とともに最も汗を流す『ベスト・リージョナル・コラボレーション・バンク』として、地域の皆様と互いの理解を深めあう“face to face”の営業を展開し、重要な経営課題である「収益力の強化」と「資産運用の効率化」の実現に向けて、役職員が一丸となって全力で取り組んでまいります。

## ■利益分配に関する方針

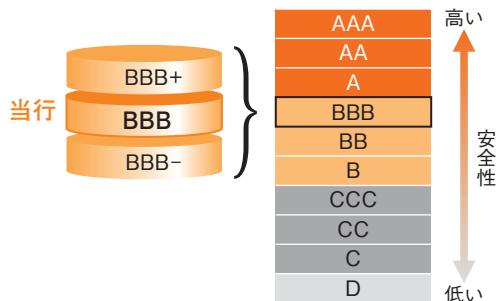
当行は、安定的な経営基盤の確保と健全な財務体質への強化を図るとともに、フローの利益とストックの内部留保に応じ、弾力的に配当金をお支払いする方針としております。

当期の期末配当は、普通株式1株につき1円50銭、第1種優先株式1株につき1円54銭8毛とさせていただきます。これにより、中間配当金を含めました当期の年間配当金は、当行普通株式1株につき2円50銭、当行第1種優先株式1株につき2円56銭8厘となります。

## ■格付

当行は、株式会社日本格付研究所（JCR）から長期優先債務格付で「BBB」（トリプルB）の格付けを取得しております。

（平成29年3月31日現在）



※格付けは、利害関係のない格付機関が企業の財務内容等を客観的に評価し、わかりやすく記号で表したものです。

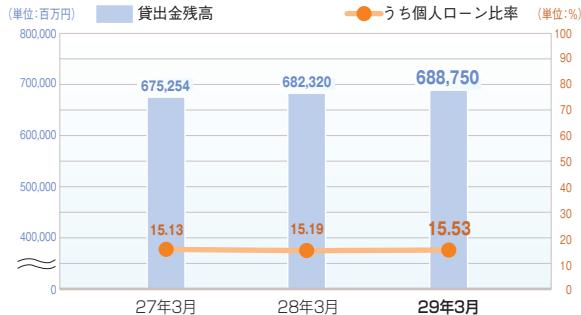
※AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス（+）もしくはマイナス（-）の符号による区分があります。

# 業容の推移

こうぎんは、地域の皆さまにとって「役に立ち信頼される銀行」を目指しています。

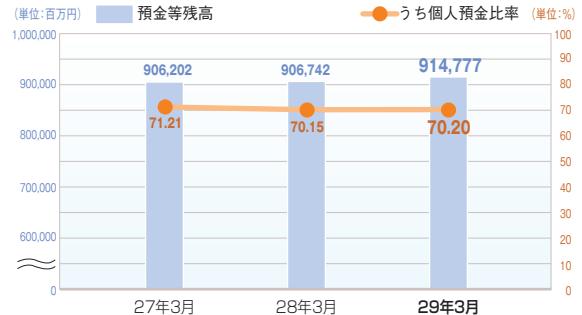
## ■貸出金

地域の中小企業を中心とする事業資金の需要に積極的にお応えするなど、貸出金の増強に努めた結果、貸出金残高は前期末比64億円増加して6,887億円となりました。



## ■預金等（譲渡性預金含む）

地域に密着した営業活動を展開した結果、預金等の残高は前期末比80億円増加して9,147億円となりました。



## ■コア業務純益・経常利益・当期純利益

地域に密着した営業活動を展開し、業績の向上と経営体質改善強化に努めた結果、コア業務純益は18億49百万円、経常利益は28億83百万円、当期純利益は21億13百万円となりました。

### 〔コア業務純益〕

コア業務純益とは、資金の運用収支、手数料等の収支、外国為替や債券等の売買の損益等の利益から債券にかかる損益と経費を差し引いて算出される利益で「銀行の本業での業績を表す指標」といわれています。



## ■自己資本比率

経営の健全性の重要な指標とされる自己資本比率は、前期比0.43ポイント低下して9.78%となりました。



# 地域社会への貢献

地域金融機関である当行の使命は、地域金融の円滑化と信頼される金融商品の提供にあると考えています。

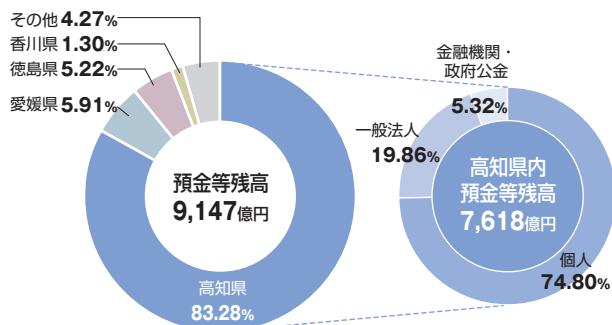
平成29年3月末の貸出金残高6,887億円のうち高知県内向け貸出金は4,577億円で、当行の貸出金全体の66.45%を占め、また、当行の貸出金の74.56%は中小企業や個人のお客さまへのご融資となっております。

預金につきましても、当行はおかげさまで地域の皆さまから高いご支持をいただいております。

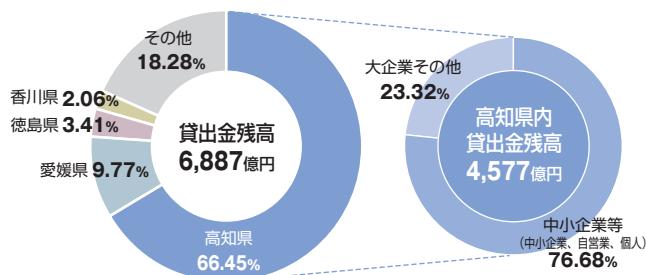
これからも、地域に根ざした金融機関として、地域社会の発展に貢献し、お客さまそれぞれのニーズにお応えできる金融機関を目指してまいります。

## ■ 高知県内における預金・貸出金

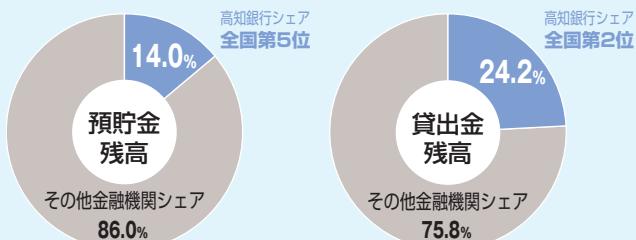
預金等の残高に占める地元預金  
(平成29年3月末)



貸出金残高に占める地元貸出金  
(平成29年3月末)



## 地元における「預貯金・貸出金」シェア (平成28年3月末)

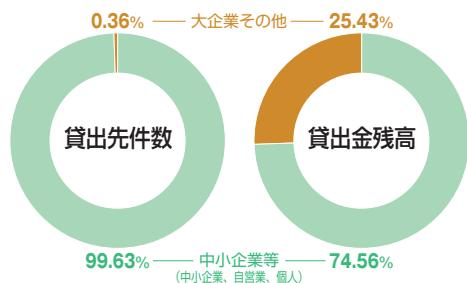


「第二地銀の地元におけるシェア」におきまして、高知銀行はおかげさまで地域の皆さまから高いご支持をいただいております。

- 高知県内の計数を対象としています。その他金融機関には、大手銀行など、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、ゆうちょ銀行を含みます。
- 「月刊金融ジャーナル増刊号金融マップ2017年版」調べ

## ■ 中小企業等に対する貸出金

中小企業等に対する貸出金の割合  
(平成29年3月末)

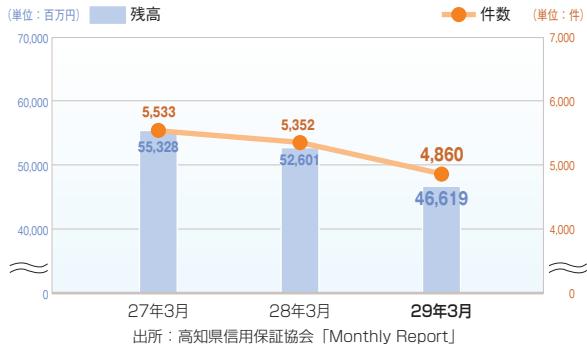


中小企業等に対する貸出金残高の推移



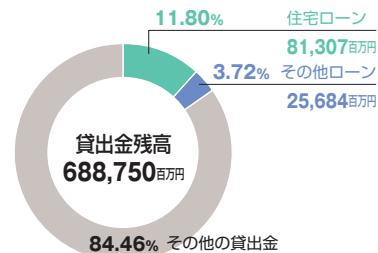
## ■ 信用保証協会保証付融資

高知県信用保証協会保証債務残高における当行の残高・件数推移



## ■ 個人向け貸出

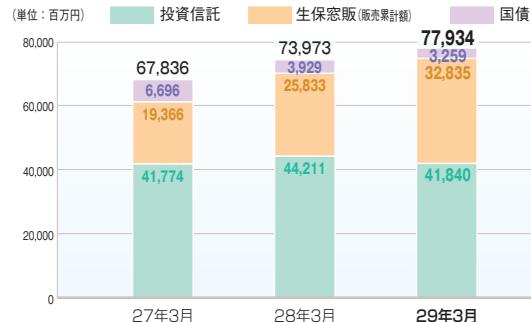
消費者ローン(住宅ローン・その他ローン)残高の貸出金に占める比率  
(平成29年3月末)



## ■ 個人預金の推移



## ■ 預り資産の推移



# 中期経営計画「地域の未来を築く こうぎんの挑戦」

～ベスト・リージョナル・コラボレーション・バンクを目指して～

計画期間 平成27年4月～平成30年3月

## 経営目標

- ☆お客さまにとって・・・役に立ち信頼される銀行
- ☆株主にとって・・・健全で企業価値の高い銀行
- ☆地域社会にとって・・・使命を果たし発展に貢献する銀行
- ☆職員にとって・・・働きがいがあり夢と希望を実現できる銀行

## 経営基本方針

金融仲介機能を発揮して、地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域との共存共栄を図る。

## 基本戦略

### 【地域密着型金融の深化】

コンサルティング機能を発揮し、事業性評価を重視した信用供与や経営支援を行うとともに、お客さまのライフステージや状況等に応じたソリューション提案力を強化して、地域と一体化した“face to face”の営業を徹底することで、地方創生に貢献する。

### 【財務基盤の一層の強化】

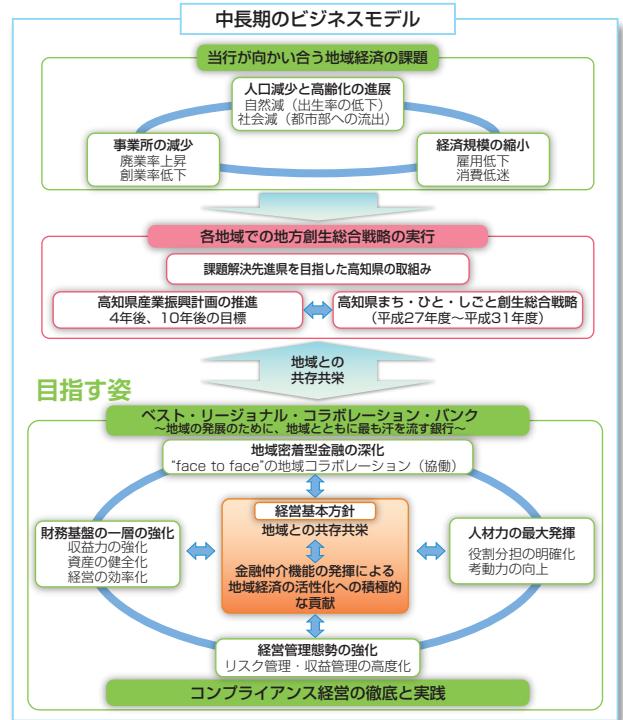
貸出金の増強を柱としてトップライン収益の増強を図るとともに、将来を見据えた経営の効率化を推進し、資産の健全化に努めていくことで、強固な財務基盤を築き上げる。

### 【経営管理態勢の強化】

リスク管理・収益管理の高度化により、持続性のある経営基盤を確立する。

### 【人材力の最大発揮】

職域内の役割分担の明確化により職員それぞれの士気を高め、一層の創意工夫による考動力（thinking & action）を発揮し、組織を活性化させる。



## ■主要計数目標と実績

		(単位：百万円)						
		27年3月期	27年9月期	28年3月期	28年9月期	29年3月期	29年9月期	30年3月期
コア業務純益	計画		1,525	3,114	1,578	3,203	1,687	3,386
	実績	3,112	1,308	2,467	881	1,849		
	計画対比		△217	△647	△697	△1,354		

※コア業務純益（業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益）

		(単位：%)						
		27年3月期	27年9月期	28年3月期	28年9月期	29年3月期	29年9月期	30年3月期
業務粗利益経費率	計画		69.65	69.10	68.52	68.18	68.04	67.79
	実績	67.96	69.02	69.07	70.73	72.45		
	計画対比		△0.63	△0.03	2.21	4.27		

※業務粗利益経費率（(経費－機械化関連費用)÷業務粗利益）

		(単位：億円)			
		27年3月期	28年3月期	29年3月期	30年3月期
当期純利益	計画		16	15	15
	実績	38	29	21	
	計画対比		13	6	

		(単位：%)			
		27年3月期	28年3月期	29年3月期	30年3月期
自己資本比率	計画		10.4%程度	10.4%程度	10.4%程度
	実績	10.21	10.21	9.78	
	計画対比		△0.19	△0.62	

# 地域密着型金融の深化

当行は、長年にわたって築いてきた地域のお客さまとの絆をさらに深め、お客さまのニーズに応じた質の高い金融サービスを提供する「地域密着型金融」の推進に取り組んでおります。

特に、当行の主要取引先である中小企業等の皆さまに対しまして、幅広い資金供給手法を活用した信用供与の円滑化や、経営改善支援活動をより一層強化・充実していくことで、地域とともに持続的な成長を実現してまいりたいと考えております。

当行は、これからも地域経済の活性化に貢献し、「地域との共存共栄」を図ってまいります。

## 3つの重点課題

### 1. お取引先に対するコンサルティング機能の発揮

当行は地域に密着した業務展開によって築いてきた、お取引先との親密な信頼関係を維持・強化し、経営の目標や課題を共有いたします。

外部専門家や外部機関と協働して、お取引先のライフステージや事業の持続可能性等を適切かつ慎重に見極めたうえで、最適なソリューションを提供し、お取引先の主体的な実行を促します。

ソリューションの実行後においても協働して進捗管理を進めていくことで、お取引先の成長・発展・改善に向けて取り組んでまいります。

### 2. 地域の面的再生への積極的な参画

コンサルティング機能の発揮や目利き能力の向上に向けた人材の育成に努め、さまざまな地域情報を収集・集積しながら、地方公共団体等とも連携して地域の面的再生において積極的な役割を果たしてまいります。

### 3. 地域やお取引先に対する積極的な情報発信

当行の地域密着型金融に対する取組み状況や成果は、積極的に分かりやすい形で情報発信し、地域やお取引先からの信頼を高めてまいります。

## 平成28年度の実績

項目	実績
経営改善支援の取組み（ランクアップ）	49先
経営改善計画の策定※	80先
中小企業再生支援協議会への持ち込み	7先
年金相談会の開催	16回
出張税務相談会の開催	11回

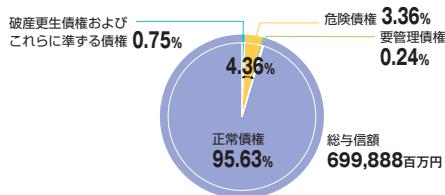
項目	実績
ビジネスマッチングへの取組み	「薩長土肥連携首都圏バイヤー商談会」 「FOODEX JAPAN2017」 地方創生「食の魅力」発見商談会2016
創業・新事業開拓支援	83先 5,985百万円
動産・債権譲渡担保	52先 5,805百万円

※修正計画の策定支援を行った先も含んでおります。

# 金融再生法開示債権の状況

当行は、不良債権発生の未然防止に努めるとともに企業再生支援の取り組みを強化し、資産の健全性維持に注力しております。また、「格付・自己査定システム」を導入し、信用変化の都度査定する随時査定方式により個別に査定し、厳正に貸倒引当処理を行う一方、担保処分や貸出債権売却等の不良債権の最終処理にも努めております。

「金融再生法開示基準に基づく不良債権」の総与信額に占める割合（平成29年3月末）



金融再生法に基づく開示債権（単体）の推移

	（単位：百万円）		
	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	4,146	4,233	5,269
危険債権	29,105	27,460	23,570
要管理債権	2,835	2,272	1,691
小計	36,087	33,967	30,530
正常債権	643,970	655,574	669,358
合計	680,057	689,541	699,888
総与信残高に占める割合	5.30%	4.92%	4.36%
保全率	80.15%	81.07%	81.73%

## 自己査定

対象債権	
貸出金、外国為替、仮払金、支払承諾見返、金融機関保証付私募債、未収利息	
破綻先債権 (320)	
実質破綻先債権 (4,948)	
破綻懸念先債権 (23,570)	
要管理先債権 (2,005)	要 注 意 先 債 権
その他要注意先債権 (85,452)	
正常先債権 (505,036)	

## 金融再生法開示基準に基づく債権

対象債権		保全率
貸出金、外国為替、仮払金、支払承諾見返、金融機関保証付私募債、未収利息		
破産更生債権およびこれらに準ずる債権 (5,269)	100%	
危険債権 (23,570)	80.48%	
要管理債権 (1,691)	42.14%	
小計 (30,530)	小計 81.73%	
正常債権 (669,358)		

(注)  
「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」（金融再生法）では、開示基準の対象を貸出金だけでなく、支払承諾見返や金融機関保証付私募債等を含む総与信としております（ただし、要管理債権は貸出金に限定）。また、財務内容を踏まえた債務者単位で分類しております。

## リスク管理債権

対象債権	
貸出金（破綻先債権・延滞債権は未収利息不計上）	
破綻先債権 (318)	(注)
延滞債権 (28,469)	
3か月以上延滞債権 (なし)	
貸出条件緩和債権 (1,691)	
合計 (30,478)	

(注)  
破綻先債権、延滞債権については、自己査定区分で破綻懸念先以下に区分した債務者に係る全貸出金を、担保保全の状況如何にかかわらず開示しております。  
リスク管理債権の貸出金残高に占める割合は4.42%ですが、これらの債権の81.75%を担保・保証等や貸倒引当金で保全しております。

平成29年3月末（単位：百万円）

### ●破産更生債権およびこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権

### ●危険債権

債務者が経営破綻状態にいたっていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取ができない可能性の高い債権

### ●要管理債権

自己査定区分による「要注意先」のうち、

「3か月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」

### ●正常債権

債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外のものに区分される債権

### ●破綻先債権

元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出

金（貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金

### ●延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金

### ●3か月以上延滞債権

元金又は利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3か月以上遅延している貸出金で、破綻先債権および延滞債権に該当しない貸出金

### ●貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破綻先債権、延滞債権および3か月以上延滞債権に該当しない貸出金

# トピックス

## 商談会を開催

当行は、お取引先企業や生産者の方を対象に、販路開拓機会の創出を目的とした「薩長土肥連携首都圏バイヤー商談会」を平成28年11月に開催いたしました。

この商談会は、「薩長土肥包括連携協定」を締結した地域金融機関5行庫との共催により高知・鹿児島・山口・佐賀各県の魅力ある食品などを取り扱う企業と、首都圏に販路を持つ百貨店やスーパーなどの有力な買い手企業をご招待し、「逆見本市」の形式にて開催いたしました。

当行は、今後もさまざまな取り組みを通じて、地域の活性化に貢献してまいります。



## 高知労働局と「働き方改革にかかる包括連携協定」を締結

当行は、高知労働局と、より緊密に連携しながら高知県内の働き方改革の加速と労働生産性の向上に資する取り組みを行うことで、地域経済の振興につなげていくことを目的とした「働き方改革にかかる包括連携協定」を締結いたしました。



## 女性職員の制服を復活

当行は、お客さまに「信頼感」や「親しみやすさ」を感じていただくとともに、地域と一体化した“face to face”の取り組みをより一層強化していくため、女性職員の制服を12年振りに復活させ、平成29年4月より着用を開始いたしました。

新しい制服は、女性職員で構成する「女性職員制服製作委員会」がデザインや機能性等について検討のうえ決定いたしました。



# 連結財務諸表

## ■ 第137期末連結貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	67,779	預金	899,326
商品有価証券	405	譲渡性預金	14,720
金銭の信託	1,069	借入金	88,704
有価証券	313,271	外国為替	0
貸出金	685,883	その他負債	9,642
外国為替	1,112	賞与引当金	384
リース債権及びリース投資資産	6,520	退職給付に係る負債	3,423
その他資産	9,608	役員退職慰労引当金	4
有形固定資産	16,319	睡眠預金払戻損失引当金	232
建物	4,568	繰延税金負債	364
土地	10,649	再評価に係る繰延税金負債	1,766
建設仮勘定	19	負ののれん	136
その他の有形固定資産	1,082	支払承諾	1,752
無形固定資産	692	負債の部合計	1,020,459
ソフトウェア	382	<b>純資産の部</b>	
ソフトウェア仮勘定	49	資本金	19,544
その他の無形固定資産	260	資本剰余金	16,706
繰延税金資産	6	利益剰余金	23,217
支払承諾見返	1,752	自己株式	△143
貸倒引当金	△11,993	【株主資本合計】	59,324
		その他有価証券評価差額金	6,224
		土地再評価差額金	3,670
		退職給付に係る調整累計額	△43
		【その他の包括利益累計額合計】	9,851
		新株予約権	49
		非支配株主持分	2,741
		純資産の部合計	71,967
資産の部合計	1,092,427	負債及び純資産の部合計	1,092,427

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 第137期連結包括利益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
当期純利益	2,307
その他の包括利益	△755
その他有価証券評価差額金	△798
土地再評価差額金	-
退職給付に係る調整額	43
包括利益	1,551
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	1,429
非支配株主に係る包括利益	122

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 第137期連結損益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	24,155
資金運用収益	14,773
貸出金利息	10,999
有価証券利息配当金	3,716
コールローン利息及び買入手形利息	0
預け金利息	43
その他の受入利息	13
役員取引等収益	2,172
その他業務収益	6,125
その他経常収益	1,083
貸倒引当金戻入益	446
償却債権取立益	69
その他の経常収益	567
経常費用	20,998
資金調達費用	1,023
預金利息	966
譲渡性預金利息	2
コールマネー利息及び売出手形利息	0
借入金利息	55
役員取引等費用	1,610
その他業務費用	5,423
営業経費	12,523
その他経常費用	417
その他の経常費用	417
経常利益	3,156
特別損失	145
固定資産処分損	22
減損損失	122
税金等調整前当期純利益	3,011
法人税、住民税及び事業税	515
法人税等調整額	189
法人税等合計	704
当期純利益	2,307
非支配株主に帰属する当期純利益	100
親会社株主に帰属する当期純利益	2,206

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 第137期連結株主資本等変動計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,544	16,712	21,523	△157	57,622
当期変動額					
剰余金の配当			△455		△455
親会社株主に帰属する当期純利益			2,206		2,206
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△5		15	9
土地再評価差額金の取崩			△57		△57
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	△5	1,693	14	1,702
当期末残高	19,544	16,706	23,217	△143	59,324

(単位：百万円)

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	7,045	3,613	△86	10,571	47	2,621	70,863
当期変動額							
剰余金の配当							△455
親会社株主に帰属する当期純利益							2,206
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							9
土地再評価差額金の取崩							△57
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△820	57	43	△720	1	120	△598
当期変動額合計	△820	57	43	△720	1	120	1,104
当期末残高	6,224	3,670	△43	9,851	49	2,741	71,967

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 財務諸表

## ■ 第137期末貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	66,802	預金	900,057
現金	13,252	当座預金	36,209
預け金	53,550	普通預金	307,414
商品有価証券	405	貯蓄預金	8,912
商品国債	306	通知預金	924
商品政府保証債	99	定期預金	535,400
金銭の信託	1,069	定期積金	7,632
有価証券	313,285	その他の預金	3,564
国債	88,783	譲渡性預金	14,720
地方債	10,606	借入金	84,557
社債	116,617	借入金	84,557
株式	15,599	外国為替	0
その他の証券	81,679	売渡外国為替	0
貸出金	688,750	その他負債	7,526
割引手形	6,031	未払法人税等	439
手形貸付	30,876	未払費用	1,575
証書貸付	566,027	前受収益	489
当座貸越	85,815	給付補填備金	2
外国為替	1,112	金融派生商品	25
外国他店預け	750	リース債務	67
取立外国為替	361	その他の負債	4,925
その他資産	3,948	賞与引当金	376
前払費用	58	退職給付引当金	3,342
未収収益	1,013	睡眠預金払戻損失引当金	232
金融派生商品	281	繰延税金負債	333
その他の資産	2,595	再評価に係る繰延税金負債	1,766
有形固定資産	16,225	支払承諾	1,752
建物	4,565	負債の部合計	1,014,665
土地	10,639	<b>純資産の部</b>	
リース資産	62	資本金	19,544
建設仮勘定	19	資本剰余金	16,706
その他の有形固定資産	938	資本準備金	11,751
無形固定資産	647	その他資本剰余金	4,955
ソフトウェア	339	利益剰余金	21,505
ソフトウェア仮勘定	49	利益準備金	748
その他の無形固定資産	258	その他利益剰余金	20,757
支払承諾見返	1,752	圧縮記帳積立金	237
貸倒引当金	△11,812	繰越利益剰余金	20,519
		自己株式	△143
		【株主資本合計】	57,613
		その他有価証券評価差額金	6,189
		土地再評価差額金	3,670
		【評価・換算差額等合計】	9,859
		新株予約権	49
		純資産の部合計	67,522
資産の部合計	1,082,187	負債及び純資産の部合計	1,082,187

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 第137期損益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	金 額
<b>経常収益</b>		<b>18,278</b>
資金運用収益	14,748	
貸出金利息	10,987	
有価証券利息配当金	3,704	
コールローン利息	0	
預け金利息	43	
その他の受入利息	13	
役員取引等収益	1,896	
受入為替手数料	621	
その他の役員収益	1,274	
その他業務収益	614	
国債等債券売却益	612	
国債等債券償還益	2	
その他経常収益	1,018	
貸倒引当金戻入益	413	
償却債権取立益	69	
株式等売却益	287	
金銭の信託運用益	87	
その他の経常収益	159	
<b>経常費用</b>	<b>15,394</b>	
資金調達費用	986	
預金利息	966	
譲渡性預金利息	2	
コールマネー利息	0	
借入金利息	17	
役員取引等費用	1,442	
支払為替手数料	108	
その他の役員費用	1,333	
その他業務費用	336	
外国為替売買損	217	
商品有価証券売買損	1	
国債等債券売却損	51	
国債等債券償還損	57	
金融派生商品費用	7	
営業経費	12,214	
その他経常費用	414	
貸出金償却	154	
株式等売却損	134	
株式等償却	9	
その他の経常費用	115	
<b>経常利益</b>	<b>2,883</b>	
特別損失	143	
固定資産処分損	21	
減損損失	122	
税引前当期純利益	2,739	
法人税、住民税及び事業税	453	
法人税等調整額	172	
法人税等合計	626	
当期純利益	2,113	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 第137期株主資本等変動計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本									株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計	自己株式	
		資本 準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	19,544	11,751	4,961	16,712	657	237	19,010	19,904	△157	56,003
当期変動額										
剰余金の配当					91		△546	△455		△455
当期純利益							2,113	2,113		2,113
自己株式の取得									△0	△0
自己株式の処分			△5	△5					15	9
土地再評価差額金の取崩							△57	△57		△57
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）										
当期変動額合計	—	—	△5	△5	91	—	1,509	1,600	14	1,609
当期末残高	19,544	11,751	4,955	16,706	748	237	20,519	21,505	△143	57,613

(単位：百万円)

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	7,017	3,613	10,630	47	66,682
当期変動額					
剰余金の配当					△455
当期純利益					2,113
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					9
土地再評価差額金の取崩					△57
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△828	57	△771	1	△769
当期変動額合計	△828	57	△771	1	839
当期末残高	6,189	3,670	9,859	49	67,522

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 役員 (平成29年3月31日現在)

(代表取締役) 取締役頭取	もりした 森下	かつひこ 勝彦
(代表取締役) 専務取締役	うえた 植田	しげる 茂
常務取締役	わだ 和田	ひろお 廣男
取締役	まつおか 松岡	まさのり 正憲
取締役	うみじ 海治	かつひこ 勝彦
取締役	さんのみや 三宮	まさこ 昌子
取締役	なるせ 成瀬	ひろし 洋
取締役	あきもと 秋元	あつし 厚志
取締役	ながひさ 永房	のぶこ 展子
常勤監査役	いわさき 岩崎	ふみあき 文明
常勤監査役	やまだ 山田	ひろし 浩
監査役	さいとう 齊藤	てるお 照夫
監査役	ふかわ 府川	はじめ 一

- (注) 1. 取締役秋元厚志および永房展子の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役山田 浩、齊藤照夫および府川 一の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
3. 社外取締役秋元厚志、永房展子および社外監査役山田 浩、齊藤照夫、府川 一の5氏は、金融商品取引所の定めに基づき、独立役員として届け出ております。
4. 社外取締役永房展子氏は、婚姻により、戸籍の氏を変更いたしました。が、弁護士業務を北川展子(旧氏名)で行っております。
5. 取締役松岡正憲氏は、平成29年3月31日をもって退任いたしました。

## 株式のご案内

### 1. 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

### 2. 配当金受領株主確定日

3月31日および中間配当を行うときは9月30日といたします。

### 3. 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

### 4. 基準日

毎年3月31日の株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主をもって、定時株主総会において権利を行使することができる株主といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

### 5. 単元株式数

単元株式数は1,000株であります。

### 6. 株主名簿管理人等

- (1) 株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- (2) 株主名簿管理人  
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社証券代行部  
郵便物の送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行事務センター  
電話照会先 ☎ 0120-782-031

### 7. 公告方法

公告方法は、電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞および高知市において発行する高知新聞に掲載いたします。

なお、当行ホームページアドレスは  
<http://www.kochi-bank.co.jp/>です。

### 8. 単元未満株式の買取・買増請求制度について

当行では、「買取請求制度」「買増請求制度」のご利用が可能となっております。

証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へお申し出ください。  
証券会社をご利用でない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行へお申し出ください。

### ■ 普通株式の単元株式数の変更および株式併合についてのご案内

当行普通株式について、平成29年10月1日をもって単元株式数を1,000株から100株に変更し、同時に10株を1株に併合いたします。

この単元株式数の変更および株式併合に伴う株主さまによる特段のお手続の必要はありません。

### ■ 単元株式数の変更・株式併合による影響

株式併合により、発行済株式総数が10分の1に減少することとなりますが、純資産等は変動しませんので、1株あたりの純資産額は10倍となり、株式市況の変動など他の要因を除けば、当行株式の資産価値に変動はありません。

### ■ 1株未満の端数が生じる場合の処理

株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法の定めに基づき、一括して処分し、その代金を端数の生じた株主さまに対して、端数に応じて交付いたします。

# 株式の状況 (平成29年3月31日現在)

## 普通株式

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	102,448,000株
株主数	6,578名
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8416

## 第1種優先株式

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	75,000,000株
株主数	1名

## ■大株主の状況 (普通株式)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,236	7.12
高知銀行持株会	4,584	4.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,675	3.61
四国総合信用株式会社	2,063	2.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,547	1.52
株式会社豊和銀行	1,474	1.45
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,374	1.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,352	1.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	1,086	1.06
株式会社近森産業	1,079	1.06

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

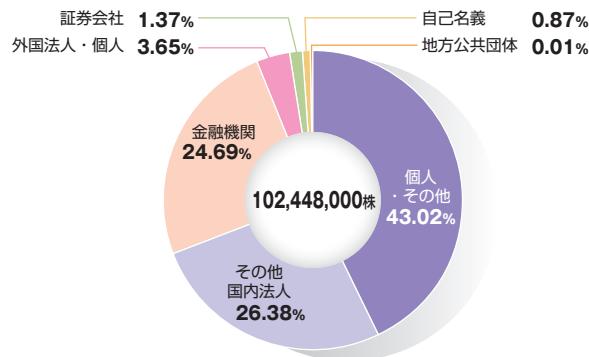
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(892,468株)を控除のうえ算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## ■大株主の状況 (第1種優先株式)

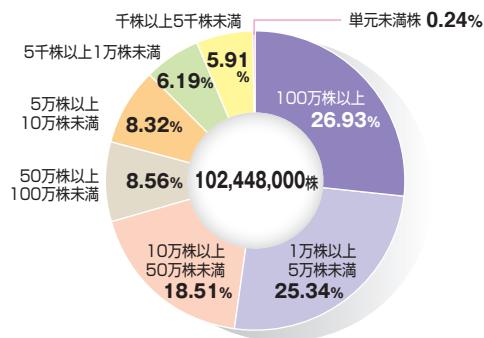
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社整理回収機構	75,000	100

## 株式分布状況 (普通株式)

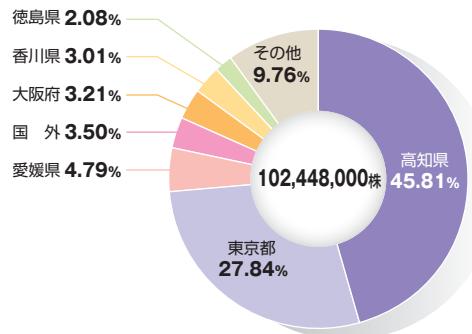
### ■所有者別分布



### ■所有株数別分布



### ■地域別分布



# 店舗のご案内 (平成29年6月20日現在)

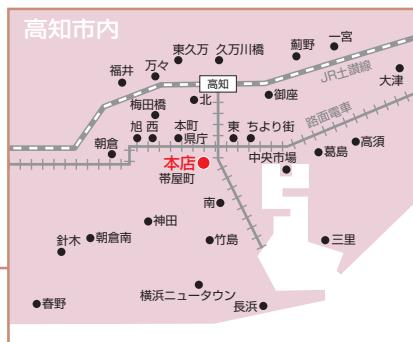
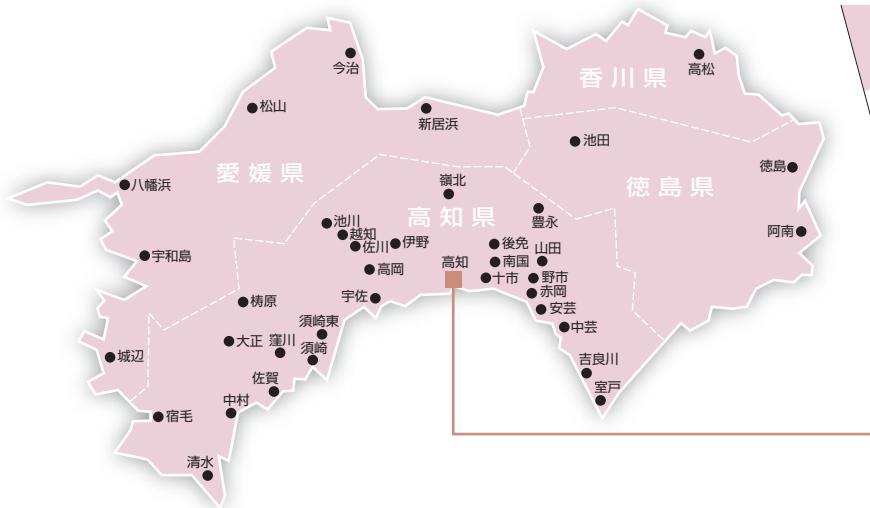
## 店舗数

本支店 71店舗

インターネット専用支店 1店舗

現金自動設備 (ATM) の営業日: ●平日・土曜日の稼働店 ●平日・土曜日・日曜日・祝日の稼働店

※県庁支店・帯屋町支店・梶原支店・岡山支店・大阪支店・東京支店は現金自動設備を設置していません。



### 高知市 (31店舗)

●本店営業部	088-822-9311
●東支店	088-883-4401
●西支店	088-822-8163
●南支店	088-831-5261
●北支店	088-822-5257
●本町支店	088-822-5251
※県庁支店	088-822-0118
●ちより街支店	088-882-5124
●中央市場支店	088-882-4880
●朝倉支店	088-844-2704
●長浜支店	088-842-2281
●万々支店	088-875-7201
●久万川橋支店	088-875-6251
●高須支店	088-882-8115
●一宮支店	088-845-5111
●竹島支店	088-831-7121
※帯屋町支店	088-824-6711
●旭支店	088-822-0251
●福井支店	088-825-2911
●三里支店	088-847-5341
●大津支店	088-866-4005

●荊野支店	088-845-9050
●朝倉南支店	088-844-5421
●梅田橋支店	088-824-7311
●神田支店	088-831-8220
●東久万支店	088-873-8221
●葛島支店	088-883-2511
●春野支店	088-894-2888
●御座支店	088-882-8411
●針木支店	088-840-6711
●横浜ニュータウン支店	088-842-4411

### 高知県東部 (12店舗)

●室戸支店	0887-22-1520
●吉良川支店	0887-25-2211
●中芸支店	0887-38-4905
●安芸支店	0887-35-3141
●赤岡支店	0887-55-3101
●野市支店	0887-56-2105
●山田支店	0887-52-2171
●後免支店	088-863-2155
●南国支店	088-864-0551
●十市支店	088-865-5900

●豊永支店	0887-75-0231
●嶺北支店	0887-82-0461

### 高知県西部 (15店舗)

●伊野支店	088-892-1262
●池川支店	0889-34-2316
●高岡支店	088-852-1131
●宇佐支店	088-856-1111
●佐川支店	0889-22-1151
●越知支店	0889-26-1151
※梶原支店	0889-65-0186
●窪川支店	0880-22-1261
●大正支店	0880-27-0341
●須崎支店	0889-42-2415
●須崎東支店	0889-43-1112
●佐賀支店	0880-55-2345
●中村支店	0880-34-3161
●清水支店	0880-82-0350
●宿毛支店	0880-63-0770

### 高知県外 (13店舗)

●徳島支店	088-653-6111
-------	--------------

●阿南支店	0884-22-2704
●池田支店	0883-72-1125
●城辺支店	0895-72-1221
●宇和島支店	0895-22-5745
●八幡浜支店	0894-22-1820
●松山支店	089-921-5101
●今治支店	0898-32-4540
●新居浜支店	0897-33-5585
●高松支店	087-834-0111
※岡山支店	086-251-3301
※大阪支店	06-6531-2766
※東京支店	03-3865-1781

### インターネット専用支店

よさこいおきく支店	0120-098-950
-----------	--------------

### 相談窓口

こうぎんローンセンター	0120-712-362
こうぎん帯屋町プラザ	0120-077-085
こうぎん久万川橋プラザ	0120-501-235

# 店舗外現金自動設備のご案内 (平成29年6月20日現在)

現金自動設備(ATM・CD)の営業日：●平日・土曜日の稼働店 ●平日・土曜日・日曜日・祝日の稼働店

現金自動設備 の設置状況	本・支店	65カ所	117台
	店外	121カ所	126台
	合計	186カ所	243台

所在地	設置場所
高知市	●青柳
//	●愛宕小橋
//	●イオンモール高知
//	●潮新町
//	●ヴェスタ桜井
//	●エースワン神田店
//	●エースワン秦泉寺
//	●エースワン横内
//	●エーマックス一宮
//	●OKAMURA帯屋町ビル
//	●業務用食品スーパー朝倉
//	●業務用食品スーパー一宮
//	●介良
//	●県庁
//	●高新放送会館
//	●高知医療センター
//	●高知駅
//	●高知学園
//	●高知機械工業団地
//	●高知県警察本部庁舎
//	●高知大学
//	●高知大丸
//	●高知西病院
//	●国病機構高知病院
//	●コープかもべ
//	●コープよしだ
//	●サークルK高知インター
//	●幸町スーパー
//	●サニーマート神田
//	●サニーマート瀬戸
//	●サニーマート高須
//	●サニーマート土佐道路東
//	●サニーマート中万々
//	●サニーマート六泉寺
//	●サンシャインヴィアン
//	●サンシャインクラージュ
//	●サンシャインクレア
//	●サンシャイン高須
//	●サンシャインベルティス
//	●サンブラザ新鮮館鴨部
//	●サンブラザ塚ノ原

所在地	設置場所
高知市	●食品工業団地
//	●近森病院
//	●近森病院外来センター
//	●天神橋通り
//	●ナンコクスーパー高須
//	●ナンコクスーパー・ハイパー大津
//	●日赤病院
//	●パワーセンター
//	●ひろめ市場
//	●フジグラン葛島
//	●フジグラン高知
//	●ベスト電器朝倉
//	●ベスト電器ちより
//	●毎日屋あさくらセンター
//	●毎日屋さんばし店
//	●毎日屋土佐道路店
//	●マルナカー宮
//	●マルニ十津店
//	●ローソン福井
東洋町	●野根
室戸市	●サンシャイン室戸
//	●ローソン室戸
//	●羽根
//	●室戸岬
奈半利町	●マルナカ奈半利
田野町	●サンシャイン田野
安芸市	●安芸市役所
//	●サンシャインランド
芸西村	●サンシャイン芸西
香南市	●香我美町
//	●フジグラン野市
//	●マルナカ赤岡
//	●夜須
南国市	●旭食品流通センター
//	●高知空港
//	●高知大学病院
//	●サニーアクシス南国
//	●サンシャインカルディア
//	●ナンコクスーパーパステ
//	●マルナカ南国

所在地	設置場所
香美市	●香美市役所
//	●高知工科大学
//	●西本町
//	●バリュー山田
大豊町	●大豊町役場
本山町	●本山
//	●嶺北中央病院
土佐町	●末広ショッピングセンター
いの町	●吾北
//	●サニーアクシスいの
//	●サニーマート伊野
//	●サンシャインラヴィーナ
//	●サンブラザ天王ニュータウン
土佐市	●サニーマート高岡
//	●サンシャインオリビオ
//	●土佐市民病院
//	●土佐ショッピングセンター
//	●ベイハロー
//	●マルナカ土佐
日高村	●サンシャイン日高
佐川町	●サンシャイン佐川
//	●サンブラザ佐川
越知町	●サンブラザ越知
須崎市	●フジ須崎
//	●マルナカ須崎
梶原町	●梶原町総合庁舎
四万十町	●サンシャイン四万十
黒潮町	●サンシャイン大方
四万十市	●アピアさつき
//	●サニーマート四万十
//	●四万十ショッピングガーデン
//	●フジグラン四万十
//	●フジ中村
土佐清水市	●サニーマート清水
//	●土佐清水市役所
宿毛市	●エヴィくりはら宿毛
//	●宿毛市役所
//	●幡多けんみん病院
//	●パルティ・フジ宿毛
徳島県三好市	●サンシャイン池田



## **THE BANK OF KOCHI, LTD.**

---

〒780-0834 高知市堺町2番24号

TEL.088-822-9311

<http://www.kochi-bank.co.jp/>

